

難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧プログラム策定事業（新規）

1 趣旨

ケニアのワンガリ・マータイ環境副大臣が長年にわたり実践してきた植林運動の取り組みは、2004年（平成16年）のノーベル平和賞受賞を契機に世界的に大きな関心を集め、また、本年の先進国首脳会議（G8）でアフリカ支援の強化が取り上げられたことから、我が国としても、アフリカにおける森林の保全・復旧の取り組みを通じた持続可能な開発への一層の貢献が期待されている。

アフリカなどの難民キャンプでは、旧来の森林管理体制やルール崩壊と特定の地域への難民の集中による燃料材の伐採等により周辺に所在する森林や樹林地の急激な減少・劣化がみられ、また、キャンプが撤収された地域において減少・劣化した森林等は放置された状態となっている。

難民キャンプは、植物の生育にとって厳しい自然条件の地域に成立していることが多く、森林等がいったん荒廃すれば、自然に回復することは困難なことから、難民受け入れ国の持続可能な森林経営の実現に多大な支障が生じることとなる。

このため、荒廃した森林や樹林地を早期に復旧し、将来にわたって持続的な森林の利用を図るため、利害関係者である住民が参加してこれらの森林等の保全・復旧活動を効果的に進めるためのプログラムを策定し、もって難民受け入れ国の持続可能な森林経営の実現に資する。

2 事業内容

(1) 実態把握及び技術指針の作成

- ① 難民キャンプ周辺森林及び樹林地の荒廃状況等の把握・分析
- ② 荒廃森林等保全・復旧技術指針の作成

(2) 難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧活動の実施

- ① 荒廃森林等保全・復旧実証モデル林の造成・管理
- ② 住民ワークショップの開催

(3) 難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧プログラムの作成

3 事業実施主体

(社) 海外林業コンサルタンツ協会

4 事業実施期間

平成18年度～22年度（5年間）

5 補助率

定額

6 平成18年度概算決定額

51,474千円（0千円）

[林野庁計画課海外林業協力室]